

本町お子様ランチ開発プロジェクト

田園資源 + 教育 + 交流

・#きーぼうdo

<取り組みの概要>

- ◆魚屋が多いという本町の特徴をとらえた「本町お子様ランチ」を、管理栄養士のアドバイス、またランチ価格と食材の値段を意識してもらいながら、小学生の発想で自由に考えてもらう。
- ◆ランチ提供日当日は、お客様に子ども達からランチメニューのプレゼンをしてもらい、店員となって振る舞ってもらう。

<取り組みの効果>

- ◆プロジェクトに参加を希望する小学生を募集したところ、1～6年生まんべんなく13人の子ども達が集まり、3グループ、3つのお子様ランチを開発した。地元の食べ物に興味を持ってもらうきっかけづくりを提供できた。
- ◆メニューを作る段階で「もうちょっと野菜を入れてみよう!」「これ入れると赤字になっちゃうね」などの話もあり、子ども達の食の栄養面や経済の仕組みへの意識付けに繋がった。
- ◆ランチ提供当日は子ども達に店員となってお客様に接してもらうことで、人との交流にも繋がり、メディアにも取り上げられ、本町に人を呼び込むことができた。

< #きーぼうdo >

- ◆概要：およそ3年前に新潟市中央区本町通にカフェを開店。コーヒーのほか、ハーブティー、特製ドリンク、アルコール飲料、軽食等を提供しています。カフェ運営のほか、様々なイベントを開催しています。
- ◆ホームページ：victory.com/wp/



<取り組みに至った経緯>

- ◆カフェを開いてから、本町はやはり年配の方が多く、若い方々や子ども達にも本町に遊びに来てもらいたいという想いがあった。
- ◆2020年に、前身となる「君のやりたいをやる学校」として、小学生に自由にお店を開いてもらうイベントを本町で開催し、好評だったことから、2021年度はさらに「子ども達に本町の良いところを発見してもらう」というコンセプトと、最近あまり馴染みがなくなった「お子様ランチ」を組み合わせた今回のプロジェクトを思いつき、実施するに至った。

<今後の展望>

- ◆来年度も継続して実施し、子ども達に地元の食に興味を持ってもらうことと併せて、経済がまわる仕組みを体験してもらいたい。
- ◆ランチの売上をプロジェクトの運営資金にまわしていくなど、子ども達の活躍が次のプロジェクトの活動に繋がっていくような仕組みづくりを検討していきたい。

<活用した支援施策>

- ◆新潟市食文化創造都市推進プロジェクト支援事業の採択事業としての補助金を活用

<取り組む際に生じた課題と対応方法>

- ◆お客様にお金をいただいて飲食を提供するという一方で、コロナ禍ということもあり、衛生面・提供時間含めて当日の運営は特に気を遣った。結果、特に問題も生じず、子ども達はのびのびと参加することができた。

